

本市の中小企業

- 市内事業所の98.6%
- 雇用創出や地域経済活性化の原動力・中枢
- 震災を機に、地域・市民との結びつき強化
- 起業に対する機運が向上

さらなる活躍が
地域の持続的
成長に

**条例の制定
(H27.4.1施行)**

条例の骨格

Point 1 役割の明確化

仙台市の責務や、中小企業者・中小企業振興団体・大企業者等がそれぞれ果たすべき役割を明らかにし、中小企業の活性化に向け各者の連携を図る

Point 2 中小企業施策の基本方針を明記

中小企業活性化施策の実施にあたり、中小企業の経営基盤の強化促進や中小企業と関係機関との連携・協力の推進に取り組むほか、人材の育成・確保や創業・事業承継の促進等について、その重要性を認識し取り組む

Point 3 「中小企業活性化会議」の設置

有識者・中小企業者等による「中小企業活性化会議」を設置し、中小企業の活性化に関する重要な事項の調査・審議を実施

+

総額**30億円**

「仙台市中小企業活性化基金」の設置
中小企業の活性化に関する事業を総合的に推進

中小企業
の活性化

地域の
持続的
成長

仙台市中小企業活性化条例のポイント (2)活性化会議の概要①

中小企業の
現状と課題

復興需要の
収束

人口減少・
高齢化

後継者不足

雇用環境悪化

労働力不足

消費需要の
縮小

生産力の減衰

起業支援、事業承継、など
課題解決に向けた取組みを検討

会議のテーマ（案）

仙台・東北地域でつくる
「ひと」「しごと」「まち」の
循環システム

■ 地域に人材を集める仕組みの構築
(人材還流システム)

■ 地域産業の成長促進

- ・ サービス産業
- ・ 農林水産業
- ・ 観光振興、地域資源活用

Point

人材の還流

■ 地域における新たなビジネスの創出

中小企業活性化基金を活用した
「攻めの中小企業活性化施策」
の実施

【ロードマップ】

H27年度（1年目）

畑を耕し、種をまく

- テーマに関して早期取組みが必要な事業はH27補正予算での対応を検討。
- 会議で議論した取組むべき新規事業は、H28予算要求を行う。

H28年度（2年目）

水をやり、花を咲かす

- 1年目の議論で開始した事業をブラッシュアップしたり、別の側面からの取組みを検討したりするなど更なる議論を深める。なお、早期取組みが必要な事業はH28補正予算での対応を検討。

H29年度以降

咲いた花は更に大きく、咲かなかったものは、新しく種をまく

- 3年目以降は、成果の検証を行い、取組み内容の見直し強化を図る。
- 会議運営についてもブラッシュアップする。

仙台市中小企業活性化条例のポイント (2)活性化会議の概要②

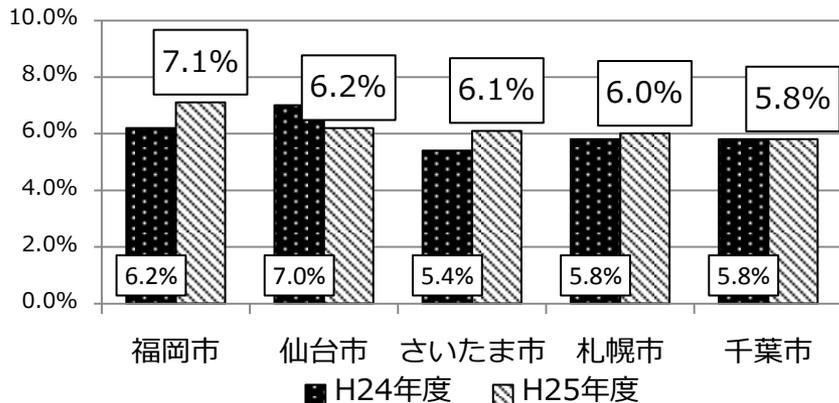
活性化会議が目指す成果目標(案) ※委員任期(2年間)終了時

- ①新規開業率日本一
- ②中小企業の従業員数増加の持続

※最終的な結果考察には、経済センサスの数値を用いるが、活性化会議における成果目標の進捗状況を確認するため、即時性のあるデータとして労働局の雇用保険主要指数を用いる。

開業率 (H24・25年度) の状況

新規開業率 (H25年度上位5都市)



出典：各都道府県労働局「雇用保険関係主要指標」

- ※ 各労働局とも職業安定所単位で当該市域を含むエリアをすべて合計しており、20政令市及び東京23区の行政区域とは一致しない
- ※ 経済センサスによる開業率の順位

<21年度>

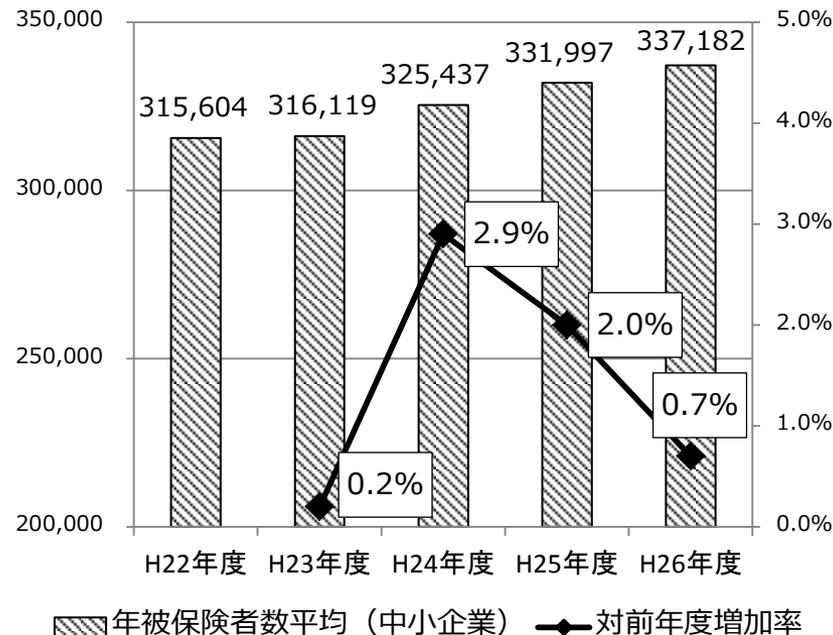
順位	政令市	開業率
1	福岡市	4.11%
2	札幌市	3.90%
3	横浜市	3.58%
4	仙台市	3.56%
5	堺市	3.40%

<24年度>

順位	政令市	開業率
1	仙台市	3.06%
2	神戸市	2.89%
3	福岡市	2.86%
4	札幌市	2.63%
5	熊本市	2.54%

雇用の状況

従業員数



出典：宮城労働局「雇用保険関係主要指標」

- ※ H26年度はH27年2月までのデータにより算出
- ※ 全ての被保険者数に仙台市における全従業員に占める中小企業の従業員数の割合である75%を乗じ、中小企業の従業員数と推定している
- ※ 職業安定所単位であるため、仙台市以外の地域も一部含まれる